

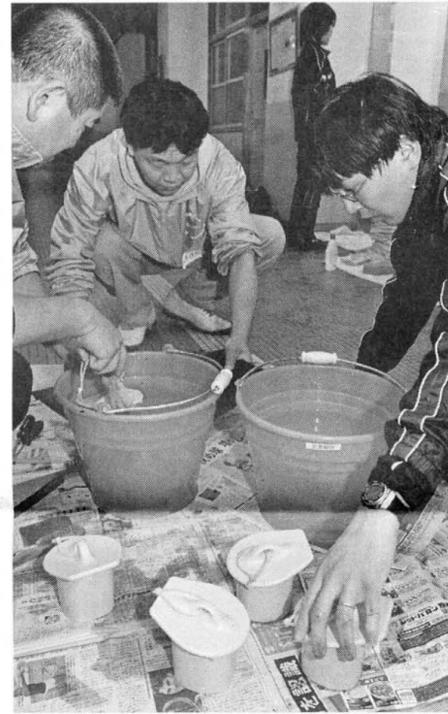


# 芽生えた 奉仕の精神

19年1月1日 産経新聞

「教育再生」が声高に叫ばれる中、京都市では公立小中学校を中心にトイレ掃除を教育活動の一環として取り入れ、地域ぐるみで心を磨いている。トイレ掃除を通じて、「奉仕の精神」を学ばせるのも目的の一つだ。果たして、子供たちに奉仕の精神は芽生えているのか。『課外授業』の現場を訪れた。

(小田博士)



教員やボランティアから大人がバックアップすることで、「奉仕の精神」を教える

## トイレ磨いて 心もピカピカ



黙々とスポンジでトイレの床を磨く生徒たち

### ■「クサイ」

まだ空が薄暗い昨年12月の土曜日の早朝。京都市伏見区の市立向島東中学校(峠達哉校長)の体育館に、紺色のシャワーを着た生徒約40人を含め、教員や保護者、地域住民ら計約130人が集まった。

### ■「楽しかった」

たわい、スポンジなど大半の掃除道具に柄はない。身を低くして床を磨く。便器にも手を突っ込む。たが、ゴム手袋を着用したり、専用の防護剤を手に塗ったりすることで、衛生面には配慮がなされている。

### ■「ウサイ(うざったい)」

「ウサイ(うざったい)」「キモイ(気持ち悪い)」「クサイ」という最近の子供が嫌がる3点を言ったトイレ掃除で奉仕の精神を養う動きは今後も拡大していった。

### ■「大人がまず手本」

トイレ掃除を通じた「奉仕の精神」の習得の試みは、どういった経緯で始まったのか。自動車部品小売業「イエロー

だれかが掃除してくれていると思っていたトイレ。実際、磨いてみると、その大変さも分かる  
—京都市伏見区の市立向島東中学校



また空が薄暗い昨年12月の土曜日の早朝。京都市伏見区の市立向島東中学校(峠達哉校長)の体育館に、紺色のシャワーを着た生徒約40人を含め、教員や保護者、地域住民ら計約130人が集まった。

「感じる」とは人それぞれだが、終わってから得るものがある。峠校長がいさづると、生徒らは6班に分かれて校内のトイレに散らばった。「ウワー」「ヤダー」「クサイ」。

「ウサイ(うざったい)」「キモイ(気持ち悪い)」「クサイ」という最近の子供が嫌がる3点を言ったトイレ掃除で奉仕の精神を養う動きは今後も拡大していった。